

# 環境経営活動レポート

平成30年7月～令和元年6月



令和2年7月10日更新



仲栄建設株式会社

## 目次

|                                                 |       |
|-------------------------------------------------|-------|
| 1. 組織の概要 .....                                  | 1     |
| 位置図 .....                                       | 2     |
| 2. 環境経営理念 .....                                 | 3     |
| 3. 環境経営方針 .....                                 | 3     |
| 組織図及び役割 .....                                   | 4     |
| 4. 環境経営目標 .....                                 | 5     |
| 5. 環境経営計画及びその取組結果と評価、次年度の取組内容 .....             | 6～10  |
| 6. 環境負荷実績（30年度） .....                           | 11    |
| 環境負荷実績（5年間） .....                               | 12～14 |
| 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認<br>及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ..... | 15～17 |
| 8. 地域との融合活動 .....                               | 18    |
| 9. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果 .....               | 18～19 |
| 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果 .....                 | 20    |

## 1. 組織の概要

- (1) 事業者名 伸栄建設株式会社
- (2) 代表者氏名 代表取締役 出雲大俊
- (3) 所在地 静岡市葵区慈悲尾 6 7 - 1
- (4) 事業内容 建設工事
- (5) 従業員数 29 名 (令和元年 7 月 3 日現在)
- (6) 環境管理責任者 出雲 大俊  
環境管理担当者 石川 文朗
- (7) 連絡先 連絡先 tel 054-278-1833  
fax 054-278-1609  
E-mail shineikensetu@basil.ocn.ne.jp
- (8) 建設業許可 建設業 静岡県知事許可 (特-30) 第 2202 号  
産業廃棄物収集運搬業 第 02201145008 号  
(自社運搬のみ、受託実績はありません)

- (9) 事業の規模 ①設立 昭和 48 年 2 月

### ②事業規模

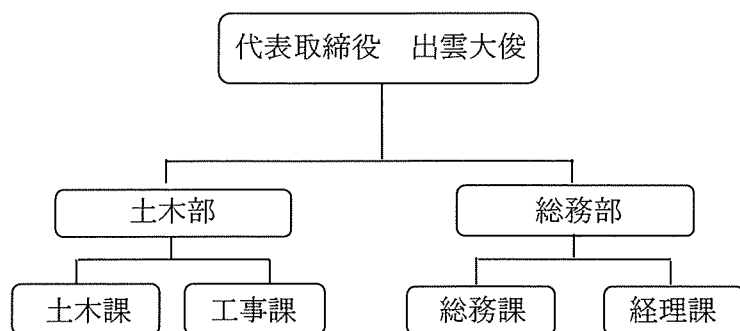
| 活動規模       | 単位             | H28年 | H29年 | H30年 |
|------------|----------------|------|------|------|
| 工事等の件数     | 件              | 27   | 27   | 22   |
| 売上高        | 百万円            | 999  | 1014 | 1000 |
| 従業員        | 人              | 32   | 30   | 29   |
| 事務所床面積     | m <sup>2</sup> | 333  | 333  | 333  |
| 資機材置場面積    | m <sup>2</sup> | 1000 | 1000 | 1000 |
| 工場・作業所等床面積 | m <sup>2</sup> | 650  | 650  | 650  |

- (9) 事業年度 7 月 1 日～翌年 6 月 30 日

- (10) エコアクション 21 認証範囲

事業活動：国・自治体が発注する建設工事及び  
鉄道関連土木工事  
対象事業所：本社事務所・倉庫・資機材置場





## 1. 企業理念

希望と理想を胸に後世に誇れるモノを創造する

## 2. 社訓

凡事徹底 『あたりまえの事を徹底的に実践し一生懸命にやりぬく。』

## 3. 環境経営理念

伸栄建設の社員一人一人が、「地球の温暖化・資源の枯渇」という事態の現状を重く受け止め、身の回りの、小さなひとつひとつの取り組みを通じ、環境の保全と、資源の有効利用を継続的に実践します。

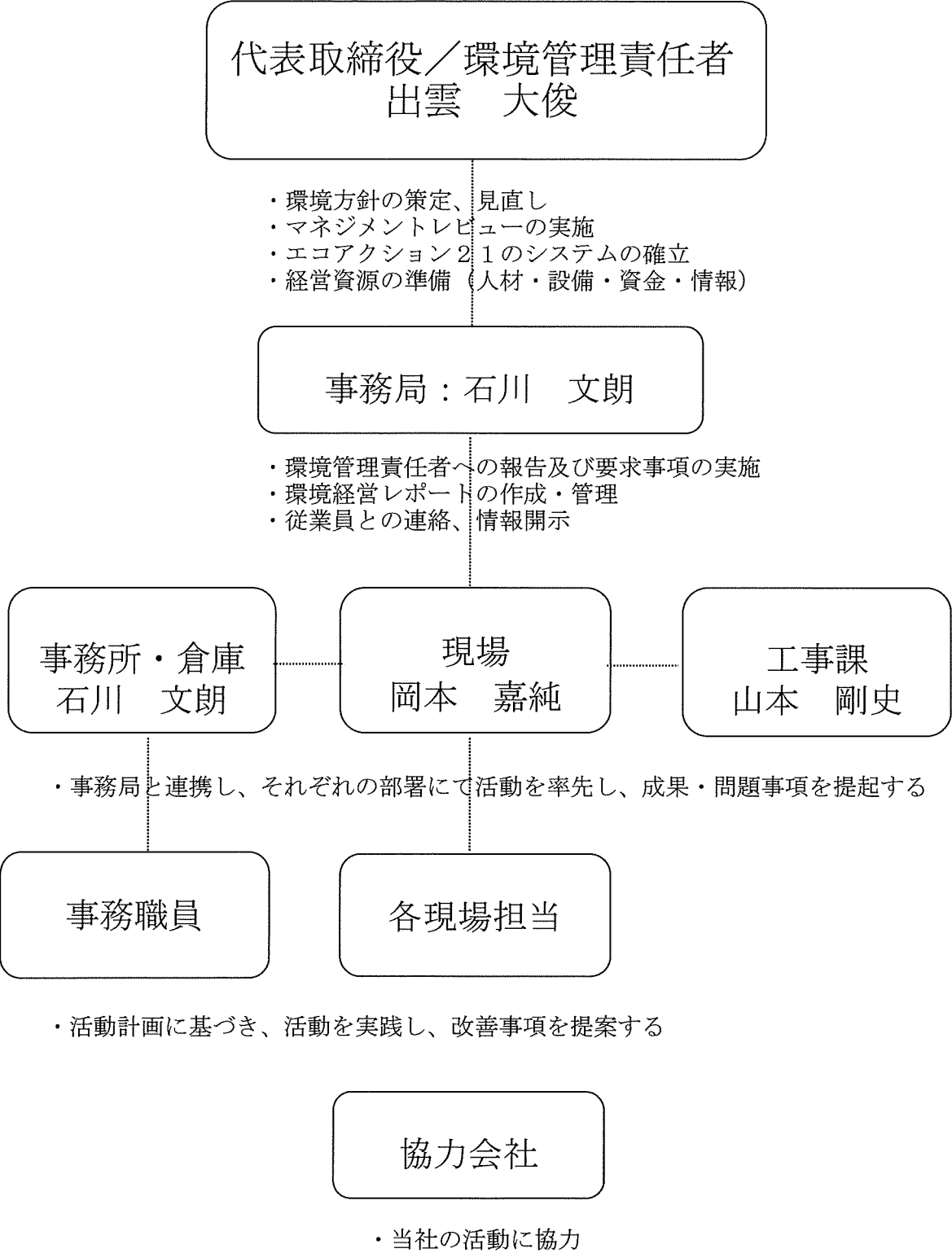
## 4. 環境経営方針

- ① CO<sub>2</sub>削減のための電気、燃料の使用量削減および、水資源確保のための節水に取り組みます。
- ② 産業廃棄物の分別を徹底し、リサイクル・リユースにつとめます。
- ③ 建設現場においては環境に配慮した工事を実施いたします。
- ④ 設定した管理目標の達成状況および活動計画の進捗状況を定期的に確認・改善し、継続的発展を目指します。
- ⑤ 関連する法規則等の情報収集に努めると共に、法規則の遵守を徹底します。
- ⑥ 社員一人ひとりが環境方針を理解し、自主的に取り組めるよう意識の向上を図ります。
- ⑦ 商品の購入にあたり、グリーン商品の利用を推進します。

制定日 平成24年2月1日

改定日 令和2年7月10日

伸栄建設株式会社  
代表取締役 出雲 大俊



#### 4. 環境経営目標

数値については、売上100万円あたりの原単位とする。  
 目標値については、27年を基準に平成30年までに-3%とする。  
 電力、混合廃棄物については、店社からの排出量とする。

|                 | 項目              | 単位                 | H27実績   | 基準値    | H28目標  | H29目標  | H30目標  |
|-----------------|-----------------|--------------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| CO <sub>2</sub> | CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub> | 103,095 | 118.6  | 117.5  | 116.3  | 115.1  |
|                 | 電力 (店社のみ)       | kWh                | 14,389  | 16.6   | 16.4   | 16.2   | 16.1   |
|                 | LPG             | m <sup>3</sup>     | 13.4    | 0.0154 | 0.0153 | 0.0151 | 0.0150 |
|                 | ガソリン            | L                  | 28,229  | 32.5   | 32.2   | 31.8   | 31.5   |
|                 | 軽油              | L                  | 8,489   | 9.8    | 9.7    | 9.6    | 9.5    |
|                 | 灯油              | L                  | 1,296   | 1.49   | 1.48   | 1.46   | 1.45   |
| 廃棄物             | コピー用紙           | kg                 | 588     | 0.677  | 0.670  | 0.663  | 0.656  |
|                 | 混合廃棄物           | kg                 | 3,590   | 4.131  | 4.090  | 4.049  | 4.007  |
| 水               | 上水              | m <sup>3</sup>     | 414     | 0.476  | 0.472  | 0.467  | 0.462  |
| 環境に関するクレーム      |                 | 件                  | 0       | 0      | 0      | 0      | 0      |

## 5. 環境経営計画及びその取組結果とその評価

| 活動計画     |         | 担当者            | 実施事項                                           | 取組結果                          | 継続の有無  |
|----------|---------|----------------|------------------------------------------------|-------------------------------|--------|
| C O 2 削減 | 電気使用量削減 | 石川・小林          | ・事務所などの照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯                    | 10月の環境目標として設定                 | ○      |
|          |         |                | ・空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）及び使用削減                 | グリーンカーテンを作った。                 | ○      |
|          |         |                | ・空調を必要な区域や時間に限定して使用                            | 7月の環境目標として設定                  | ○      |
|          |         |                | ・使用していない時のPC電源オフ                               | 8月の環境目標として設定                  | ○      |
|          |         |                | ・電気製品の待機電力オフ                                   | 10月の環境目標として設定                 | ○      |
|          |         |                | ・不在時の換気扇使用を止める                                 | 応接、給湯室、会議室を重点的に取り組んだ。         | ○      |
|          | 現場担当    | ・現場での点滅灯のソーラー化 | 元請現場100%実施                                     | ○                             |        |
|          | 燃料使用量削減 | 全員             | ・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしをしない、駐停車中のエンジン停止等） | 12月、4月の環境目標として設定<br>低燃費の車両の導入 | ○<br>○ |
|          |         |                | ・給油時のタイヤ空気圧チェック                                | 運行記録表にチェック欄を設け、意識付けをした。       | ○      |
|          |         |                | ・排ガス規制に適合した建設機械を使用する                           | 元請現場100%実施                    | ○      |
| 水削減      | 水使用量    | 全員             | ・建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う                     | 実行できた。                        | ○      |
|          |         |                | ・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行                  | 実行できた。                        | ○      |
|          |         |                | ・給湯室での水使用量削減                                   | 水量を抑えて使用した。                   | ○      |
| 廃棄物削減    | 紙使用量削減  | 全員             | ・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるよう考慮し、残部が出ないように配慮  | 9月の環境目標として設定                  | ○      |
|          |         |                | ・両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底                      |                               |        |
|          |         |                | ・プレビューの活用徹底                                    | コピー機にシールを貼ることで注意喚起をした。        | ○      |
|          |         |                | ・古紙としての回収を増やす                                  | 9月の環境目標として設定。                 | ○      |
|          |         |                |                                                |                               |        |

| 活動計画   |                                     | 担当者                | 実施事項                                                     | 取組結果                      | 継続の有無 |
|--------|-------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------|-------|
| 廃棄物削減  | 廃棄物処理                               | 全員                 | ・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底                     | 片付け、商品入替時等に実施した。          | ○     |
|        |                                     |                    | ・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないで分別する                            | 現場の状況に応じて徹底できた。           | ○     |
|        |                                     |                    | ・事務所の混廃ボックスの搬出回数を減らす。                                    | 目標の2回に対し3回の搬出になった。        | ○     |
|        |                                     |                    | ・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する | 分別ルールを徹底した。エコキャップ運動に参加した。 | ○     |
|        |                                     |                    | ・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している       | 購入時の確認を徹底した。              | ○     |
| グリーン購入 | 小林                                  | ・環境ラベル認定等製品を優先的に購入 | コストとのバランスを考慮した上で優先購入した。                                  | ○                         |       |
| その他    | 現場担当                                | 石川                 | ・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている                              | 元請現場にて100%実施。             | ○     |
|        |                                     |                    | ・環境にやさしい施工や工法を採用している                                     | 元請現場にて100%実施。             | ○     |
|        | ・月1回のミーティングにて進捗、改善点等確認              |                    | プリンターの使用状況についての注意喚起等                                     | ○                         |       |
|        | ・月毎に取り組む重点目標を設定し、安全衛生委員会時に周知する      |                    | 目標を持ち回りで作成し発表した。                                         | ○                         |       |
|        | ・活動に関する広報スペースを確保し、実施状況、成果など情報を提供する。 |                    | 掲示板を利用して目標の周知を徹底した。                                      | ○                         |       |

### エコキャップの回収



今回2400個

合計11085個

### 環境目標一覧

|     |              |
|-----|--------------|
| 7月  | エアコンの消費電力の削減 |
| 8月  | PC関係の省エネ     |
| 9月  | 不要紙の削減       |
| 10月 | 電灯、電気器具の節電   |
| 11月 | 後片付けの徹底      |
| 12月 | 燃費向上         |
| 1月  | 整理整頓         |
| 2月  | 健康管理         |
| 3月  | 体調管理         |
| 4月  | 社用車の燃費向上     |
| 5月  | CO2排出量の削減    |
| 6月  | 湿度対策         |

次年度環境経営計画

| 活動計画                  |                            | 担当者                   | 実施事項                                           | 取組内容                            |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------|------------------------------------------------|---------------------------------|
| C O 2<br>削減           | 電気<br>使用<br>量<br>削減        | 石<br>川<br>・<br>小<br>林 | ・ 事務所などの照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する。                | 応接室、給湯室を重点的に確認する                |
|                       |                            |                       | ・ 空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）及び使用削減                | 温度設定のチェック・グリーンカーテンの実施・ブラインドの使用  |
|                       |                            |                       | ・ 空調を必要な区域や時間に限定して使用                           | こまめに電源を切る                       |
|                       |                            |                       | ・ 使用していない時のPC電源オフ                              | ミーティングでの注意喚起                    |
|                       |                            |                       | ・ 電気製品の待機電力オフ                                  | 業務終了時の電気ポット電源オフ                 |
|                       |                            |                       | ・ 不在時の換気扇使用を止める                                | 応接、給湯室を重点的に確認する                 |
|                       | 燃料<br>使用<br>量<br>削減        | 全<br>員                | ・ 現場での点滅灯のソーラー化                                | 元請現場100%実施                      |
|                       |                            |                       | ・ エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等） | 毎月の環境目標として設定し、<br>掲示板他目立つ所に掲示する |
|                       |                            |                       | ・ 給油時のタイヤ空気圧チェック                               | 運行記録表にて確認                       |
|                       |                            |                       | ・ 排ガス規制に適合した建設機械を使用する                          | 元請現場100%実施                      |
| 水<br>削<br>減<br>用<br>量 | 全<br>員                     | 全<br>員                | ・ 建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う                    | 現場での注意喚起                        |
|                       |                            |                       | ・ 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行                 |                                 |
|                       |                            |                       | ・ 給湯室での水使用量削減                                  | 水量に注意し、無駄に出さない。                 |
| 廃<br>棄<br>物<br>削<br>減 | 紙<br>使<br>用<br>量<br>削<br>減 | 全<br>員                | ・ 印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるよう考慮し、残部が出ないように配慮 | コピー機のリセットボタンへ注意を喚起させる<br>シール等貼付 |
|                       |                            |                       | ・ 両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底                     | ミーティングでの声掛け                     |
|                       |                            |                       | ・ プレビューの活用徹底                                   | コピー機周辺でのポップ等による注意喚起             |
|                       |                            |                       | ・ 古紙としての回収を増やす                                 | ミーティングでの声掛け                     |

| 活動計画   |       | 担当者                                 | 実施事項                                                     | 取組内容                               |
|--------|-------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 廃棄物削減  | 廃棄物処理 | 全員                                  | ・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底                     | 片付け、商品入替時等に実施                      |
|        |       |                                     | ・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないで分別する                            | 元請現場100%実施                         |
|        |       |                                     | ・事業所の混廃ボックスの搬出回数を減らす。                                    | 前年度同様1回に抑える。                       |
|        |       |                                     | ・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する | 現場に合わせた分別ルールを徹底する。<br>エコキャップ運動への参加 |
|        |       |                                     | ・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している       | 購入時の確認を怠らない                        |
| グリーン購入 | 小林    | ・環境ラベル認定等製品を優先的に購入                  | コストとのバランスを図りつつ実施                                         |                                    |
| その他    | 現場担当  | ・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている         | 現場担当者間で情報交換することにより情報の共有を図る                               |                                    |
|        |       | ・環境にやさしい施工や工法を採用している                |                                                          |                                    |
|        | 石川    | ・月1回のミーティングにて進捗、改善点等確認              | 担当者からの問題提起                                               |                                    |
|        |       | ・月毎に取り組む重点目標を設定し、安全衛生委員会時に周知する      | 月毎に順番で目標作成者が作成～発表する                                      |                                    |
|        |       | ・活動に関する広報スペースを確保し、実施状況、成果など情報を提供する。 | 掲示板の内容を四半期毎に更新する                                         |                                    |

## 6. 環境負荷実績（平成30年度）

実績値は売上100万円当りの実績値

CO<sub>2</sub>排出係数：中部電力 0.497

| 項目              |                 | 単位                 | H27実績   | 基準値<br>(H27年度売上100万円当り) | H30目標値<br>(基準値-3%) | H30実績<br>絶対値 | H30実績<br>売上100万円当り | 評価 |
|-----------------|-----------------|--------------------|---------|-------------------------|--------------------|--------------|--------------------|----|
| CO <sub>2</sub> | CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub> | 103,095 | 118.6                   | 115.08             | 99,100       | 99.10              | ○  |
|                 | 電力（店社のみ）        | kWh                | 14,389  | 16.6                    | 16.1               | 23,072       | 23.1               | ×  |
|                 | LPG             | m <sup>3</sup>     | 13.4    | 0.0154                  | 0.0150             | 31.5         | 0.030              | ×  |
|                 | ガソリン            | L                  | 28,229  | 32.5                    | 31.5               | 26,942       | 26.9               | ○  |
|                 | 軽油              | L                  | 8,489   | 9.8                     | 9.5                | 8,706        | 8.7                | ○  |
|                 | 灯油              | L                  | 1,296   | 1.49                    | 1.45               | 970          | 0.97               | ○  |
| 廃棄物             | コピー用紙           | kg                 | 588     | 0.677                   | 0.656              | 530          | 0.530              | ○  |
|                 | 混合廃棄物           | kg                 | 3,590   | 4.131                   | 4.007              | 1,404        | 1.404              | ○  |
| 上水使用量           |                 | m <sup>3</sup>     | 414.0   | 0.476                   | 0.462              | 239.000      | 0.239              | ○  |
| 環境に関するクレーム      |                 | 件                  | 0       | 0                       | 0                  | 0            | 0                  | ○  |

### ※評価

- ・二酸化炭素については電力、LPGが目標未達成であったが目標は達成できた。
- ・電力の原因：猛暑のため、エアコンの使用頻度が増えた。暑さ対策のため是正なし。
- ・LPGの原因：使用量が少なく、バラつきの範囲内。目標から外す。
- ・コピー用紙、混合廃棄物、水使用量、クレームについては活動が展開され目標を達成した。

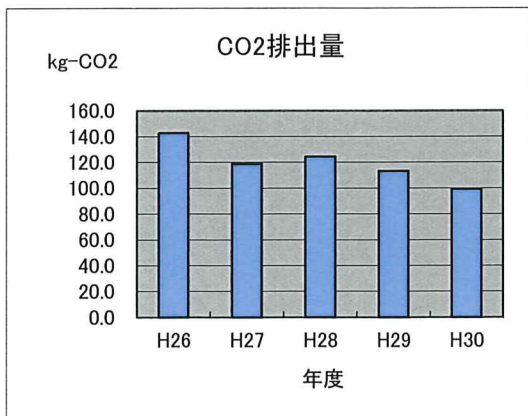
※次年度目標：新たにH30年度を基準に中期目標を設定する。

（原単位目標はCO<sub>2</sub>のみとし、LPGと灯油についてはCO<sub>2</sub>の中に含め、個別の目標は使用量が少ないため除外する。）

## 環境負荷実績（5年間）

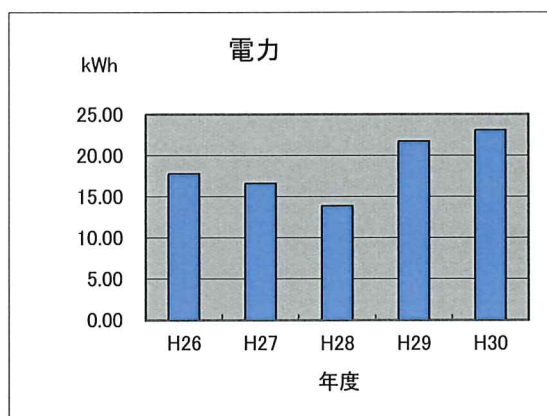
Co2排出係数：中部電力 0.497

| 項目              |                 | 単位                 | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    |
|-----------------|-----------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| CO <sub>2</sub> | CO <sub>2</sub> | kg-CO <sub>2</sub> | 142.7  | 118.6  | 124.2  | 113.1  | 99.1   |
|                 | 電力              | kWh                | 17.77  | 16.60  | 13.88  | 21.70  | 23.10  |
|                 | LPG             | m <sup>3</sup>     | 0.0167 | 0.0154 | 0.0120 | 0.0171 | 0.0315 |
|                 | ガソリン            | L                  | 38.0   | 32.5   | 35.0   | 29.9   | 26.9   |
|                 | 軽油              | L                  | 12.1   | 9.8    | 11.3   | 11.8   | 8.7    |
|                 | 灯油              | L                  | 1.82   | 1.49   | 0.79   | 1.00   | 0.97   |
| 廃棄物             | コピー用紙           | kg                 | 0.680  | 0.677  | 0.470  | 0.562  | 0.530  |
|                 | 混合廃棄物           | kg                 | 3.46   | 4.13   | 1.82   | 0.51   | 1.40   |
| 水 上水            |                 | m <sup>3</sup>     | 0.329  | 0.476  | 0.224  | 0.286  | 0.239  |



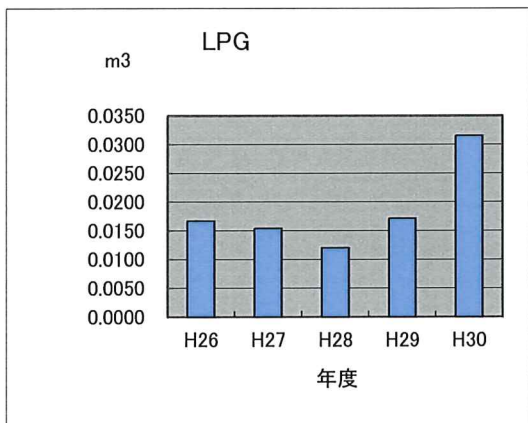
29→30年度削減率 12.4%

- ・比率の大きいガソリン、軽油の削減効果によるところが大きい



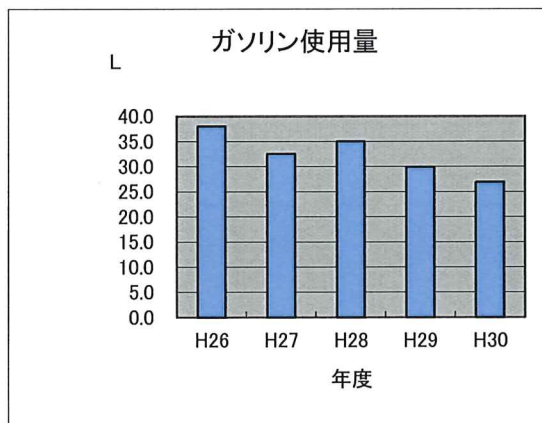
29→30年度削減率 -6.5 % (店社のみ)

- ・夏季のエアコンの使用の増加のため



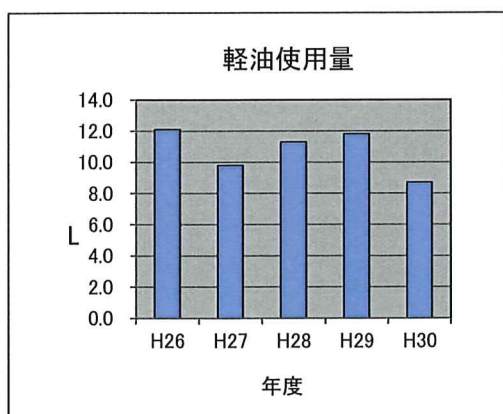
29→30年度削減率 -84.2%

- ・使用料が少ないためバラつきの範囲内



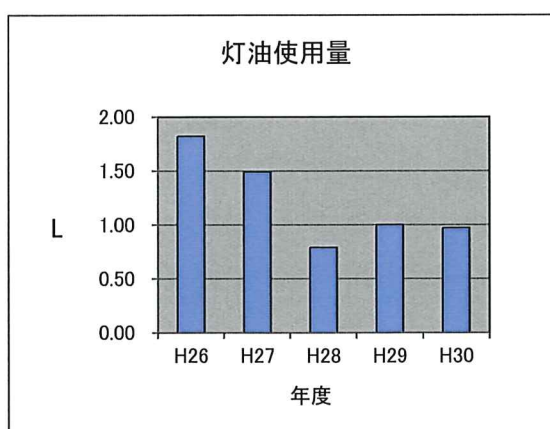
29→30年度削減率 10.0 %

- ・給油記録の入力徹底による意識付け



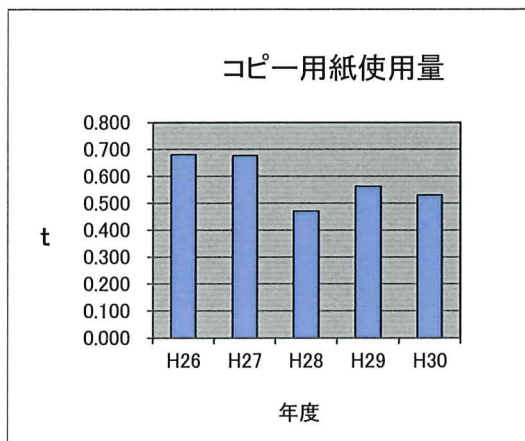
29→30年度削減率 26.3%

- ・給油回数を減らし、全体の給油量を抑えた。



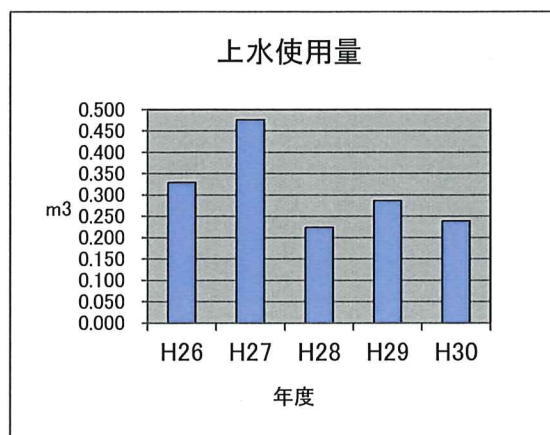
29→30年度削減率 3.0%

- ・計画的に使用することで無駄な発注を減らした。



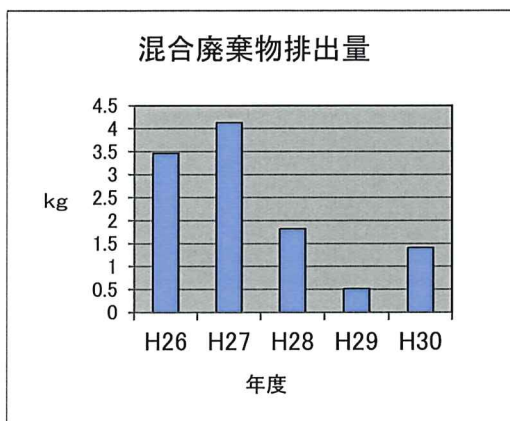
29→30年度削減率 5.7%

- ・月別の環境目標としての啓発活動等による



29→30年度削減率 16.4%

- ・給湯室での洗い物の時など無駄な使用の抑制に努めた



29→30年度削減率 -73.7%

- ・中期目標としては達成しているが、まめな声掛けが必要

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

| 名称                | 法令等の遵守すべき内容及び規制基準値                             | 実施事項                                                                                                                      | 違反の有無 |
|-------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律  | 廃棄物の排出抑制、適正な分別等の処理並びに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る       | 1. 産廃排出者の義務としての委託契約書の作成<br>2. 県条例として産廃処分先の現地確認相手の更新の確認<br>3. 産廃保管置き場の掲示<br>4. 廃棄物の分別、マニフェストに基づく処理・管理<br>5. 収集運搬許可の更新（5年毎） | 無     |
| 循環型社会形成推進基本法      | 3R（リデュース、リユース、リサイクル）                           |                                                                                                                           |       |
| 資源有効利用促進法         | 資源の大量使用・大量廃棄を抑制し、リサイクルによる有効利用の促進を図る            |                                                                                                                           |       |
| 建設リサイクル法          | 請負金額500万円以上の土木工事において、使用されている建設資材を現場で分別する       | 契約時の届出                                                                                                                    | 無     |
| 騒音・振動規制法<br>静岡県条例 | 指定地域内での特定建設作業における届出                            | 自治体への届出                                                                                                                   | 無     |
| 地球温暖化対策推進法        | 大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させ、地球温暖化を防止する                 | 排ガス規制に適合した建設機械を使用<br><br>エコドライブなど運転時における配慮                                                                                | 無     |
| 大気汚染防止法<br>静岡県条例  | 建築物の解体に伴う煤煙、自動車排気ガスに係わる許容限度を定めること等により生活環境を保全する |                                                                                                                           |       |
| グリーン購入法           | 環境負荷のできるだけ小さいものを率先して購入する                       | エコマーク等環境ラベルの入った製品の使用                                                                                                      | 無     |
| 浄化槽法              | 事務所での保守点検、清掃、法定検査                              | 年4回の保守点検及び浄化槽法第11条に基づく年1回定期検査                                                                                             | 無     |

| 名称                         | 法令等の遵守すべき内容及び規制基準値                            | 実施事項                                    | 違反の有無 |
|----------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|-------|
| 建設業法                       | 建設業許可の登録・更新                                   | 5年毎の更新<br>(平成25年9月20日更新済)               | 無     |
| 建築基準法、<br>道路法、河川法<br>上下水道法 | 工事基準の順守、<br>各種申請手続きの適正処理                      | 水質汚濁防止、<br>道路占有許可の申請等                   | 無     |
| 家電リサイクル法                   | 特定家庭用機器（テレビ・<br>エアコン・冷蔵庫・洗濯機・<br>衣類乾燥機）の適切な廃棄 | 小売店への引取依頼もしくは<br>リサイクル券購入後指定引取<br>場所へ運搬 | 無     |
| P C リサイクル法                 | 使用済みのパソコン、<br>モニターの適切な処理                      | メーカーへの引取依頼、<br>回収料金の支払い                 | 無     |
| 自動車リサイクル法                  | 使用済み自動車の廃棄                                    | リサイクル料金の支払い、<br>引取業者への引渡し               | 無     |
| 環境基本法                      | 一般的な自主努力                                      |                                         | 無     |
| フロン排出抑制法                   | 事業用エアコン、重機付属の<br>エアコンにおける簡易点検                 |                                         | 対象外   |
|                            |                                               |                                         |       |
|                            |                                               |                                         |       |

#### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

#### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

令和2年7月10日確認

## 環境コミュニケーション記録

環境上の苦情や要請などは必ず受け付けて、対応し、記録する。

☐苦情   ☐要望   ☐提案   ☐行政とのやりとり   ☐その他

|               |  |                   |  |     |
|---------------|--|-------------------|--|-----|
| 受付日           |  | コミュニケーション先<br>電話： |  |     |
| 件名            |  | 環境管理責任者           |  | 報告者 |
| ありませんでした      |  |                   |  |     |
| 内容            |  |                   |  |     |
|               |  |                   |  |     |
| 応急対応（応急処置）    |  | 環境管理責任者           |  | 報告者 |
|               |  |                   |  |     |
|               |  | 部署責任者コメント         |  |     |
| 根本対応（是正処置（再発防 |  | 環境管理責任者           |  | 作成  |
|               |  |                   |  |     |
|               |  | 部署責任者コメント         |  |     |
| 備考（改善提案などのコメン |  |                   |  |     |
|               |  |                   |  |     |

保管：事務局

## 8. 地域との融合活動

平成30年8月9日

### 道路清掃活動

静岡建設業協会が実施した、静岡市職員と静岡建設業協会会員による道路清掃活動に参加した。



平成30年10月21日

### ボランティア活動

自主的な取り組みとして、民放ラジオ局の清掃活動に参加

平成30年11月18日

### 流木クリーン祭り

14年前から定着した、安倍川流木クリーン祭りに毎年参加している。



平成31年3月10日

自主的な取り組みとして、慈悲尾地区の清掃活動を実施



令和1年5月8日

### 稚アユ放流事業と河川清掃

毎年静岡建設業協会の社会奉仕事業として定着し参加している。



## 9. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果

- ・ 想定される緊急事態  
作業所、工場内での機械類の破損による燃料の流出
- ・ 対応  
オガクズ、吸着マットを利用し流出した油を拭き取る。  
実施訓練：平成30年9月14日実施
- ・ 予防策  
使用機械類の点検を徹底し、細心の注意をもって油の流出を防ぐ。
- ・ BCPを策定している。
- ・ 災害時の連絡体制として安否コールを導入している。



|         |     |
|---------|-----|
| 承認      | 作成  |
| 環境管理責任者 | 事務局 |

| 手順書          |                                                                                                                   | 緊急事態対応手順書                                                                                                                                    | 担当部署：事務局 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 制定：令和2年7月10日 |                                                                                                                   |                                                                                                                                              |          |
| 目的           | 作業所、工場内での機械類の破損による燃料の流出の場合、緊急対応を適切に行うことにより環境汚染を防止する。                                                              |                                                                                                                                              |          |
| NO           | 作業手順                                                                                                              | ポイント                                                                                                                                         |          |
| 0            | (予防)<br>① 機械類の点検を怠らない。<br>② 機械担当者を選任する。<br>③ 処理用品を工場内に常備しておく                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前、使用後の点検及び定期点検の励行</li> <li>・機械担当者：瀬畑、小林</li> <li>・吸着マット、おがくず、オイル処理ボックスを常備し、保管場所にも表示をする。</li> </ul> |          |
| 1            | (社内連絡)<br>① 発見者は近くの者がいれば声を掛け応援を要請する。<br>② 処理後、環境管理責任者まで連絡をする。<br>③ 社内全員で情報を共有する                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じ処理を進める。一人の場合でも対応できるよう準備をしておく。</li> <li>・メールでの連絡、ミーティングでの報告</li> </ul>                           |          |
| 2            | (処理方法)<br>① 燃料の流出元を突き止め、処置ができる場合は応急処置を施し流出を止める。<br>② 漏れ出た燃料については吸着マット等を用い処理をする。<br>③ 流出の原因を突き止め修理等の対応を行い、今後の発生を防ぐ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて点検担当者の指示を仰ぐ</li> <li>・機械の使用履歴等から発生原因を明らかにする</li> </ul>                                         |          |
| 3            | (実地訓練及び評価・見直し)<br>① 毎年1回訓練を行い、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。<br>② 社内ミーティングにて結果報告<br><br>直近の実施日：平成30年9月14日 参加5名               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急の場合を想定し、各人が処理用品の保管場所を確認し、実際に燃料を吸着させることで対応できるようにする。</li> </ul>                                      |          |
|              |                                                                                                                   |                                                                                                                                              |          |
|              |                                                                                                                   |                                                                                                                                              |          |

※事故発生時・緊急事態対応訓練実施後に見直し、必要に応じて改訂する。

<改訂記録>

| 版 | 改訂日 | 改訂内容・改訂理由 |
|---|-----|-----------|
|   |     |           |
|   |     |           |

保管：事務局

10. 代表者による総合評価と見直し

|               |                                                                                                                                       | 項目               | 確認         | コメント              |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------|-------------------|
| 見直し<br>関連情報   | 1                                                                                                                                     | 環境方針             | ☑          | 現状で可・現場にも必ず掲示する   |
|               | 2                                                                                                                                     | 環境目標及び目標達成状況     | ☑          | 外部環境の変化によるところが大きい |
|               | 3                                                                                                                                     | 環境活動計画及び取組状況     | ☑          | ほぼ計画とおり実施できている    |
|               | 4                                                                                                                                     | 環境関連法規等の遵守状況     | ☑          | 該当事項については遵守している   |
|               | 5                                                                                                                                     | 外部コミュニケーション・対応記録 | ☑          | 外部からの苦情なし         |
|               | 6                                                                                                                                     | 問題点の是正・予防措置の実施状況 | ☑          | 常に対応できる体制にある      |
|               | 7                                                                                                                                     | その他              | ☑          | 特になし              |
| 代表者による<br>見直し | <p>エコアクション21のガイドラインが変更になるとのことで、周りが変化していく中、弊社も遅れないように対応していくことが大切だと考えます。</p> <p>大きな変化というものは考えておりませんが、地道な活動を徹底することを意識して、前進できればと考えます。</p> |                  |            |                   |
|               | 項目                                                                                                                                    |                  | 変更の<br>必要性 | 指示事項等             |
|               | 1                                                                                                                                     | 環境方針             | 有          | 2017版対応見直し        |
|               | 2                                                                                                                                     | 環境目標・計画          | 有          | 次年度からの中期目標の作庭と見直し |
|               | 3                                                                                                                                     | 環境活動計画・取組項目      | 無          |                   |
|               | 4                                                                                                                                     | 環境組織             | 無          |                   |
|               | 5                                                                                                                                     | システム要素           | 無          |                   |
|               | 6                                                                                                                                     | その他              | 無          |                   |

令和2年7月10日

伸栄建設株式会社  
代表取締役 出雲大俊